

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	千葉県	市町村名		大学名	
派遣日	令和3年2月3日(水曜日) 14:00~16:10				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 派遣 / <u>遠隔</u>				
派遣場所	なし(オンラインのため)				
アドバイザー氏名	港区立筭小学校 主任教諭 花島 健司				
相談者	千葉県教育委員会				
相談内容	<p>連絡協議会やHPを通して、指導力の向上や指導方法の伝達を図ってきたが、新たに日本語指導の担当となる教員が、指導に困っているが現状がある。</p> <p>また、指導はできるものの、日本語指導を計画的に行うことを目的とした、「特別の教育課程」「個別の支援計画」等を作成していない教員も多くいる。他には、外国人児童生徒等の学力向上に関する内容の研修が行えていないことがある。</p> <p>これらの課題に対して、市町村教育委員会の取組への助言、日本語指導担当教員等への情報提供を依頼した。</p>				
派遣者からの指導助言内容	<p>「外国人児童生徒等教育について～個に応じた効果的な指導～」</p> <ol style="list-style-type: none">外国人児童生徒の実際<ul style="list-style-type: none">日本語指導が必要な外国籍や日本国籍の児童生徒数及び母国語の状況等における全国と千葉県の比較日本語指導の教育課程上の位置づけ<ul style="list-style-type: none">特別の教育課程の編成と実施の必要性を、参考例とともに提示教員研修を想定した個別の支援計画作成におけるポイントや参考資料の提示言語習得について<ul style="list-style-type: none">子供の言語習得における母語と日本語の関係発達段階における日本語学習の特徴日本語指導の考え方とコース設計<ul style="list-style-type: none">「サバイバル日本語」「日本語基礎」「技能別日本語」「日本語と教科の統合学習」「教科の補習」等静岡県教育委員会が取り組んでいる拠点校的な日本語指導、巡回型の日本語指導の在り方と運営面愛知教育大学作成「学習目標例」を元に子供たちの実態に即した学習目標例を作る際の留意点				

(様式3)

相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<p>「千葉県の今後の方針として」</p> <p>1 日本語指導者の育成</p> <p>令和3年度に初期指導者研修を計画している。今回のように文部科学省外国人児童生徒等教育アドバイザーの指導を受けたい。</p> <p>また、国の研究結果を参考にし、日本語指導者養成研修として初級・中級・上級とこのような養成段階別の研修を設定し、日本語指導担当教員の養成をしていきたい。</p> <p>2 県立学校における相談員の拡充</p> <p>きめ細かな支援事業に応募し、相談員の拡充をしていく。母語指導員を増やすことで、外国人児童生徒の支援を手厚くし、拠点校や進路及び進学支援の在り方を調査研究していく。</p>
--------------------	---

1枚にまとめる必要は、ありませんので、詳細に記載願います。なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。